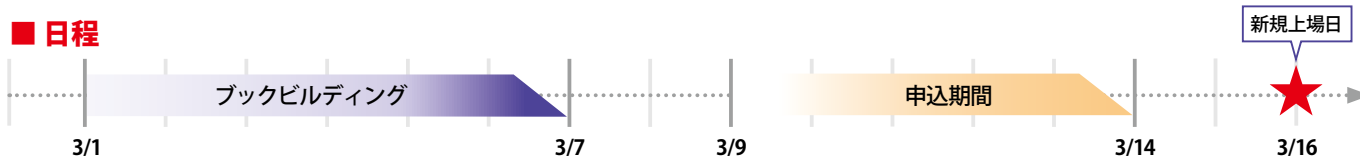


IPO銘柄 昭栄薬品 (3537・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3537	100株	公募: 20.00万株 売出: 10.00万株 (OA4.50万株)	1,330円~1,350円 (1.6倍)	大和証券



天然油脂由来の化学品「オレオケミカル」を手掛ける

■ 事業内容

天然油脂由来の油脂化学品であるオレオケミカルを手掛ける化学会社。主要仕入れ先は花王<4452>で、花王にとっても国内主要代理店となっている。化学品事業のほか、オレオケミカルに関する専門知識を活用して家庭用洗剤を取り扱う日用品事業、地盤改良やコンクリートの補修補強材料などの土木建設資材事業も営む。化学品では脂肪酸、脂肪アミノなどのオレオケミカルを界面活性剤などの原料として油脂メーカーから仕入れ、中間製品メーカーに販売。これらの中間製品メーカーが生産した界面活性剤などの化学品を家庭用、工業用として最終製品メーカーに販売している。日用品事業では家庭用洗剤や業務用洗剤をOEM（相手先ブランドによる生産）で手掛ける。16年3月期第3四半期累計（15年4～12月）の売上高構成比は、化学品事業が88.9%、日用品事業が5.1%、土木建設資材事業は6.0%。

■ 特徴

オレオケミカルは、パーム油やヤシ油、パーム核油などの天然油脂を原材料として生み出される油脂化学品の総称。資源に限りのある石油化学品とは異なり再生産が可能で、環境負荷が低い。同社はこれまでオレオケミカルに専門特化してきたノウハウを活用して、単なる商社機能の枠を超え、顧客に対して新商品開発支援を行うなど、差別化戦略にも取り組んでいる。

アナリストコメント

■ 定量分析

16年3月期の連結経常利益は前期比0.6%増の3億2,700万円を計画する。化学品は前3月期に天然油脂相場の上昇に伴う値上げを実施している。需要は堅調だが、大きく伸びる業界ではなく、業績はここ数期、横ばい傾向。前期は経常減益となっていた。

■ 定性分析

成長イメージの乏しいビジネスモデル。初値買いの集まりにくいタイプの上場案件となってしまうようだ。仮条件の上限で試算した配当利回りは3%程度あるが、全般相場の調整で既上場銘柄にも高配当利回り銘柄が増えていることから、特段の投資魅力にはならなそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約4.7億円と少なく、需給面には妙味がある。ベンチャーキャピタル保有株はあるものの1社保有で、かつ、ロックアップ条項が付されているため、すぐに市場に流出する懸念は乏しい。（小泉健太）

■ 類似企業

昭栄薬品(3537・JASDAQ)	予想PER1.6倍 (仮条件上限)
三京化成 (8138・東証2部)	予想PER10.8倍
ソーダニッカ (8158・東証1部)	予想PER12.2倍

■ 引受証券

大和証券、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、SMBC 日興証券、SBI 証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年3月期(実績)	20,805	—	341	—	130	—	137.3	18.0
15年3月期(実績)	17,897	▲14.0	325	▲4.7	219	68.5	231.1	18.0
16年3月期(会社予想)	18,621	4.0	327	0.6	791	3.6倍	821.9	40.0

※ 14年3月期より連結決算。15年11月に株式分割(1株→5株)を実施。14年3月期、15年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年3月期	193,507	11,663	3,308	96	3,489.8	28.4	4.3
15年3月期	193,507	13,458	4,940	96	5,210.8	36.7	5.3

※ 14年3月期および15年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	鐵野 磨輝男	252,735	26.66
2	昭栄薬品社員持株会	170,395	17.97
3	大阪中小企業投資育成	122,500	12.92
4	雨森 肇	37,205	3.92
5	西巻 俊樹	35,025	3.69
6	内野 佐斗司	32,060	3.38
7	小林 節夫	30,000	3.16
8	山口 宏	28,500	3.01
9	三嶋 昭生	26,890	2.84
10	岩井 伸太郎	24,000	2.53

経営陣

役職	氏名
代表取締役会長	鐵野 磨輝男
代表取締役社長	藤原 佐一郎
常務取締役 大阪営業本部長	内野 佐斗司
常務取締役 東京営業本部長	小林 節夫
取締役 国際推進本部長	渡辺 伸一
取締役 財務本部長	成瀬 幸次
取締役 総務本部長	小池 宏美
常勤監査役	田嶋 和重
監査役	岩井 伸太郎
監査役	今川 忠

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会